

## VI. 自由意見のまとめ



男女共同参画社会を実現していくための意見や要望を、自由記述の形で回答していただいたところ、281人（女性：143人、男性：132人、不明：6人）から回答があった。以下では、類似した意見を整理・分類し、代表的な意見をいくつかとりあげる。

## 1. 自由意見の要約

### 【男女平等について】

記入内容	件数
男女の性差を踏まえた上での平等であるべき	11
幼少期において家庭教育・学校教育などで、男女平等について教えるべき	9
女性自身の意識の低さ、責任感の欠如が問題である	7
奈良県は大阪に比べて男性優位であり、女性の地位が低い	6
男女平等を強調しすぎると、逆差別になるおそれがある	5
父子家庭の待遇改善や労働時間短縮など、男性の人権も尊重してほしい	3
男女とも納得できる範囲の女らしさ・男らしさは大切である	3
法律や制度の見直しをしなければ男女平等は実現しない	3
昔からの男性優位の考え方や風潮、しきたりを変える必要がある	3
男性（特に高年層）の意識改革が必要である	2
中高年層に対する教育や学習の機会が必要である	2
昔に比べて、現代の女性は優遇されている	1
公務員の職場は、民間に比べて男性優位が根強く残っている	1
女だから・男だからという甘えが真の男女平等を妨げている	1
計	57

### 【県政への参画について】

記入内容	件数
広報などを通じて、県の施策や計画を積極的にPRすべき	15
議会や審議会など政策・方針決定の場に、女性がもっと参画すべき	9
施策立案にあたっては、県民に問いかけ、幅広い意見を取り入れてほしい	8
県職員における女性の積極的登用を図るべき	4
広報紙で、活躍している女性の姿を紹介するなど、内容を充実してほしい	4
県の条例や施策等で、女性の地位向上を図ってほしい	3
県の施策をわかりやすい表記方法にしてほしい	1
計	44

【女性の人権について】

記 入 内 容	件数
セクシュアル・ハラスメントを意識しすぎると仕事が円滑に進まなくなる	2
DV防止法の制定を望む	1
DV防止法については、男性を守る法律もないと平等とはいえない	1
気軽に相談できる場や施設を充実してほしい	1
計	5

【少子化・子育て等について】

記 入 内 容	件数
子どもの教育上、母親は働きに出るより、家庭を守る方がよい	6
出産・育児に伴う仕事や社会活動上のハンディを解消しない限り、少子化問題は解決しないのではないかと	3
保育サービスの充実等、子育てをしやすい環境づくりが必要である	2
男性の晩婚化は、女性が強くなり、男性を選ぶようになったからである	1
地域全体で子どもを育てる環境づくりが重要である	1
ゆとりのない教育が少年犯罪につながっているのではないかと	1
子育てをしている家庭に対する減税などをおこなってほしい	1
晩婚化対策として、出会いの場を作るイベントなどをしてほしい	1
少子化を進行させないために、県は啓発をおこなうべき	1
青少年の自己中心的な自由意識や、性の乱れは問題である	1
計	18

【女性の生き方・就労について】

記入内容	件数
子どもを安心して預けられる保育施設を増設してほしい	12
男女の身体的・生理的な差を理解した上で、女性が働きやすい職場を増やしてほしい	7
女性の再就労を支援してほしい	7
給与等についての男女の均等な取扱いを促進すべき	7
女性の就労の場の確保や技術・技能取得を支援してほしい	5
職場や家族の協力がなければ、女性が育児をしながら仕事を続けることは難しい	4
育児・介護休業の取得しやすい職場環境を整備してほしい	3
女性の管理職への登用を促進すべき	3
育児や介護と仕事を両立できる環境づくりをしてほしい	2
女性が積極的な就労意識をもつよう啓発をおこなうべき	2
保育所の入所の可否決定を迅速にしてほしい	1
地区の公民館等で、地域の高齢者の参加により三世代交流の保育をおこなってはどうか	1
働く女性が子どもを預けやすいように、駅前に保育施設を作してほしい	1
計	55

【健康・介護について】

記入内容	件数
介護保険をよりよい制度にし、女性の介護負担を軽減してほしい	3
両親を支えるのが精一杯で、自分の老後について考える余裕がない	1
男性も介護休業を取得し、女性が当然介護すべきという風潮を変えてほしい	1
計	5

【男女共同参画について】

記入内容	件数
男女の特性を生かし、助け合うことで家庭や地域社会を営むよう考えるべき	6
男女共同参画についての意見交換会や、県民同士の交流の場を作してほしい	6
女性と男性が必ずしも同じように役割を担う必要はない	5
男女共同参画について考えるための研修や講演会等を開いてほしい	5

男性が家事や育児、介護等を担うための講座や教室を開いてほしい	5
家事や育児、介護の負担を減らさない限り女性が社会に出るのは難しい	4
労働時間が長くゆとりがないため、男性が家庭に参画するのは難しい	3
一人ひとりが意識を変えていかなければ社会は変わらない	3
性別に関係なく能力を発揮でき、それを社会全体で理解し合えるようになってほしい	2
男性は仕事、女性は家事・育児と考える人が多いことが非常に残念	1
就労しないでじっくり子育てしたいと考える女性もいることを忘れないでほしい	1
社会に出る女性はTPOに合った服装や振舞いをするべきだ	1
難しい文面よりも、誰もが理解し、興味をもつことのできる具体的施策を実現してほしい	1
自治会長の任期を3か月位に短縮した方が、男性の参画を期待できるのではないか	1
個人の権利ばかり主張するのではなく、道徳心を養うことが男女共同参画の実現につながる	1
男女共同参画について初めて意識するようになった	1
若い人ほど、夫婦で協力ができている	1
昼間のレストラン、スポーツクラブなどは女性ばかりで、男性が入る余地はない	1
女性は被害者意識をもち、時間をかけて変革していく必要がある	1
男女とも、社会の風潮に流されることのない、心の拠り所が求められているのではないか	1
男女とも高齢層にストレスの障害が多いので、何か楽しみを見つけた方がよい	1
計	51

#### 【その他】

記入内容	件数
女性問題以外について	29
意識調査について	14
高齢者問題について	3
計	46

## 2. 自由意見の抜粋

### 【男女平等について】

- 学校教育において、男女の特性を学び、それぞれの役割や男女平等について考える機会を与える。(女性・20 歳代)
- 男女にはそれぞれ特性があるので、ここで目指すべき“平等”とは、一個人として自己実現する時に平等なチャンスが与えられることと言えるでしょう。(男性・30 歳代)
- 広報誌やパンフレットなどで、男女の役割分担に関する社会通念、習慣、しきたりを改めることについて書いてほしい。(女性・50 歳代)
- 年齢の高い男性ほど男性優位の経験年数が長く、意識改革は難しいが、教育現場、職場、家庭も含め啓発していくべきだと思う。(男性・50 歳代)
- 男女平等社会は確実に実現されつつあると思うが、戦前から残る男性優位の意識が取り払えないことが大きい。(男性・20 歳代)

### 【県政への参画について】

- 各種団体役員にもっと女性を増やす。もっと女性が活躍できる場を提供してほしい。(女性・40 歳代)
- 結果として、女性の役職への登用が少ないと感じます。まず行政側が積極的に、女性の個性や能力を尊重することを、県民に目に見える形で示すことが重要です。(男性・30 歳代)
- 「なら女性プラン 21」という政策や県に女性政策課があることを初めて知りました。もっと積極的にPRしてください。(男性・50 歳代)
- 県の施策で、どれだけ女性の方が活躍されているのかよくわからない。広報県民だよりに掲載するのも良いけれど、わかりやすく読みやすく、情報開示してほしい。(女性・30 歳代)

### 【女性の人権について】

- ストーカーやドメスティック・バイオレンスなどで悩む女性が、気軽に相談に行ける場や施設をもっと充実させてほしい。男性が学習できる機会も設けてほしい。(女性・20 歳代)

### 【少子化・子育て等について】

- 子どものためにも母親は家にいるべき。社会問題になっている子どもの暴力についても、母親が家にいないことが原因しているのではないか。(男性・60 歳代)
- 少子化が進んでいると世間では言われていますが、保育園に申し込んでも入園できない。働くためには子どもを預ける以外に方法はないのに、こんな状況では、もう子どもなんて生みたくないと思うのも当然では。(女性・20 歳代)

### 【女性の生き方・就労について】

- 仕事に出ても家事をするのはたいてい女性で、女性の負担が増えるばかり。子どもを安心して預けられる保育施設が職場に（身近に）あればいいと思う。（女性・20歳代）
- 女性が育児をしながら働き続けるには、夫婦の協力は当然ですが、社会や地域の整備も必要だと思う。（男性・40歳代）
- 仕事の中では、女性または男性にしかできないこともあり、何もかもが男女平等とはいえないと思います。また、女性にも男性に甘えているところがあると思う。（男性・20歳代）
- 女性が再就職しようと思うと男性よりも難しいので、何か技術や技能を身につける場を充実させてほしいと思います。（女性・30歳代）
- 人間としての厚みのある人生を送るための経験を積むために、男女を問わず、学校卒業後の就職の大切さ、仕事をする事の大切さを見直すようアピールしてほしい。（女性・40歳代）

### 【健康・介護について】

- 女性が当然介護する側に立つべきという世間の風潮を改善していきたい。そのためには、介護休暇を男性が利用できる勤務体制をつくってほしい。（女性・40歳代）

### 【男女共同参画について】

- 男女それぞれの特性を生かし、助け合うことで家庭や地域社会を築くことになる。（男性・50歳代）
- 男は仕事、女は家庭、育児、介護と決めず、料理一つにしても向いている方がやる。やれる方がやり、男女協力して温かい家庭がもてる、そんな社会を望みます。（女性・40歳代）
- 男性が家事や家庭に参画しようとしても不可能なほど、労働時間が長い現在の日本において、県として何を行なおうとしているのか興味がある。（女性・30歳代）
- 年に何回か、男女が話し合い、県や県民に理解してもらう場を企画してほしい。（男性・20歳代）
- 一人ひとりが現在の自分を見つめ直すことにより、他人を認め、自分を認めてもらうための自己を確立することが必要と考えます。（女性・50歳代）